

令和5年度 外国語科 授業改善推進プラン

大田区立南蒲小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

(中・高)・コミュニケーション活動や発音練習、プレゼンテーションを行うとともに、ゲームや歌なども取り入れ、楽しみながら外国語を学べる環境をつくることができた。

(2) 課題

(中)・楽しみながら取り組んでいるが、一人一人が発音を練習したり、英語での会話をしたりする機会が少ない。
 (高)・今学習していることが、どのようなことに生かされるのか視野を広げる声掛けをする。同じ場面やパターンの会話ではなく、様々な場面の会話や単語に触れる機会をつくる。また、自分の考えや想いを英語で表現する機会を増やす。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率(経年比較)

	令和5年度結果	令和4年度結果	令和3年度結果
第6学年	<ul style="list-style-type: none"> 領域別の正答率は、区・全国の目標値、平均値を下回っている。その中でも、とくに「読むこと」「書くこと」の値が低い傾向にある。 「思考・判断・表現」にあたる、自分の考えを英語で記述し表現する力が弱い。 	<ul style="list-style-type: none"> 領域別の正答率は、すべてにおいて目標値、区の平均値を下回っている。 問題別では、聞き取った単語や会話の意味理解はできているが、文字で読み取ったり、英作文を書いたりする力が弱い。 	/

(2) 分析(観点別)

① 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 「アルファベットの読み(聞く)」では、活字体で書かれた文字を識別し、その読み方が身につけていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 「会話全体の理解(聞く)」では、日常生活に関する対話を聞き、目的や場面、状況などを推測することを苦手としている。 「英文の完成」「英作文」では、地図を見ながら道順を書いたり、身近な人について簡単な表現で表したりすることができていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 英作文では、「書けそうにない」という意識からか、正答率が低く、無回答も他の問題に比べて多かった。

3 授業改善のポイント(観点別)【◎は重点項目】

(1) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 一斉の発音練習だけでなく、一対一で発音や会話をする練習を取り入れる。 インプットとアウトプットを繰り返し、児童が英語表現に慣れるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎例文をそのまま真似するのではなく、自分の考えや想いに当てはまる表現を見つけて言えるようにしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ALTや担任が一対一で質問などをし、個別に発音や会話をする機会を増やしていく。 自分の言いたいことを考え、表現できるようにする。

(2) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> スモールトークなどで様々な単語を聞き、発音するという機会を増やし、単語に慣れ親しむ。 洋楽などを使って、活字体を読む機会を増やし、慣れるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎様々な場面の会話を聞く機会をつくり、自分でも話してみるようにする。 例文を見ながら英作文をする活動を多く取り入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> 英作文をする活動を取り入れて慣れさせ、苦手意識を減らす。 活動では、自分の考えが英語で表現できるようになったという達成感を味わえるようにする。